

温かい善意ありがとうございます



作品を寄贈する浅野さん(左)と菊池市長(右)

画家・浅野隆さんから絵画を寄贈

本市在住の画家、浅野隆さんから絵画の寄贈を受けました。浅野さんは筑西市出身で、東洋美術学校を卒業後、同校の特別派遣生としてフランスに滞在。日仏清興美術協会展、日中韓芸術展などに出品し入賞するなど、精力的に作品を発表しています。今回寄贈していただいた作品名は「Sunrise」(日の出)。浅野さんは「見る人によって解釈は変わります。絵から感じてもらえれば」と話していました。

下妻消防署員がトルコ・シリア大地震の被災地で救出活動



(写真上・下)トルコ被災地での日本隊の活動の様子 (JICA提供)

日本の国際緊急援助隊の一員として、下妻消防署消防士長の長妻秀一さんが、2月6日に発生したトルコ・シリア大地震の被災地に派遣され、9日間活動し帰国しました。2月21日には市役所を訪れ、市長に活動報告しました。

派遣先となった震源に近いトルコ南部の町カフラマンマラシュは、日中でも気温は氷点下の寒さで、そうした気候条件の中、救助隊は倒壊した建物の中のわずかな隙間に体を入れて行方不明者の捜索を行いました。長妻さんは「報道よりも現地は酷い状況でした。一人でも多くの命を救うため、休んでいる時間はありませんでした。混乱の中でも、現地には親日家の方も多く、活動に協力してくれました」と話していました。



現地での活動状況について報告する長妻さん

災害派遣 問 下妻消防署 ☎ 43-1551 FAX 44-6179



青木明美さん

教育委員会委員の選任(再任)

青木明美さん(長塚)が、令和4年第4回市議会定例会で同意を得て、教育委員会委員に再任されました。任期は、令和5年1月20日から令和9年1月19日までの4年間です。青木さんは、平成20年1月から委員を務められ、今期で5期目となりますが、長年にわたり委員として、児童・生徒の教育環境の向上と子どもたちの心身の健全な育成にご尽力されています。今後も、これまでの豊富な経験と見識を活かし、教育の振興、文化の向上のため、更なる活躍を期待しています。

教育委員会委員 問 学校教育課 ☎ 44-0740 FAX 43-9608



新型コロナウイルスワクチン接種について

3月31日までの予定であった特例臨時接種が1年間延長になる方向です。また、感染症法上の位置づけが5類に変更となった場合でも、必要な接種は引き続き自己負担なしで受けられるとされています。現在、国で検討中の4月以降の接種体制については、正式に決まり次第、市ホームページに掲載しますが、2月24日時点で国から示された方向性をお知らせします。

2023年度の追加接種スケジュール

2023年春夏の追加接種(5月~8月)

対象：65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する者、その他重症化リスクが高いと医師が認める者、医療機関及び高齢者・障害者施設の従事者
回数：1回
ワクチン：オミクロン株対応2価ワクチン

2023年秋冬の追加接種(9月~12月)

対象：追加接種が可能なすべての年齢の者
回数：1回
ワクチン：今後検討



現在は、オミクロン株対応ワクチンを1回でも接種すれば、接種終了となっています。

3回目・4回目・5回目のいずれかでオミクロン株対応ワクチンをまだ一度も接種していない方は、現在接種が可能です。3月の市内個別接種医療機関の枠をご利用ください。

オミクロン株対応ワクチンでの接種が済んでいる方は、2023年春夏接種または秋冬接種の対象になりますので、いましばらくお待ちください。

問 市コールセンター ☎ 050-5445-3743(午前8時~午後6時、平日・土日・祝日)

統計調査 問 企画課 ☎ 43-2113 FAX 43-1960

茨城県統計功労者表彰受賞

大島功さんは、多年にわたり統計調査に従事し多大な貢献をされたことから、茨城県統計協会総裁表彰を受賞し、2月17日に菊池市長から表彰状が手渡されました。

統計調査において、統計調査員が果たす役割はとて大きく、調査員の努力と活躍によって、調査の円滑な実施と統計データの正確性を確保することができます。また、集められた統計データは、国民生活の向上や社会の発展を支える重要な情報基盤となり、私たちの生活に役立てられています。



受賞した大島功さん

保育の充実 問 子育て支援課 ☎ 45-8120 FAX 43-6750

社会福祉法人下妻福祉会と下妻保育園 民営化に関する移管前協定を締結

下妻市立下妻保育園が令和6年4月から民営化されるに当たり、2月17日、市と移管先である社会福祉法人下妻福祉会(法泉寺保育園)は、移管前協定を締結しました。保育園の運営については、保育の質の確保や多様な保育ニーズに対応することが求められています。同会は、55年に渡る保育園運営の実績などが評価され、移管先として選定されました。今後は、利用する園児と保護者を第一に考え、民営化に向けた関係機関との調整や、施設整備を進めていく予定です。



協定を締結する同会土屋文明理事長(左)と菊池市長(右)